

にぎわい検討部会 前回までの部会での意見まとめ

凡例

- ★：市の考える方向性
- ：意見
- 黒字は第2回、青字は第3回の意見、赤字は第4回の意見

【広場と南北・東西動線】

★老朽化した跨線橋の架け替えと、京王線をまたぐ東西方向の通路の整備が必要であり、それぞれ降りる所に人が溜まれる広場を確保していきたい。

【東西方向の動線】

★東西の自由通路は、位置はまだ未確定だが、整備していきたい。
○線路の上でも下でも、かなり高低差が大きくなる。階段でもエレベーターでも時間がかかって大変。

【駅舎の改良】

★改札口を増やすことは難しい。
○南武線ののり面のスペースを活用すればホームの拡張も可能だと思う。
○ホームの拡張についても提案していきたい。
○京王線の高架化はありうるのか
⇒鉄道事業者として、線路の地盤はいじれないということなので、可能性はない。(市)

【駅へのアクセス道路(商店街通り)】

○緊急車両が入れないことが問題だと思う。
○最低限、駅で事故が起こった場合などに、緊急車両がスムーズに通行でき、駅前で転回できるスペースを確保する必要がある。
○車が転回できる広場を、人工地盤をつくって整備することも考えられる。
○現在の商店街の雰囲気が好きな人も多いと思うので、無理に拡幅をしなくても良いのではないかと。
○自動車の時間帯規制を行う場合は、商店街の全テナントに話を聞かないと、販売コストに上乗せすることにつながりかねない。
○荷捌き車両だけでなく、ゴミ収集車の通行も多いので、ゴミ処理を共同で行い、ゴミ収集車の台数を減らせないか。

【商店街の土地利用】

○敷地規模が小さい方が多いので、セットバックへの協力は難しいのではないかと。
○容積率を上げて、使える床面積を増やしていくことは、商店街にとって大きな力になると思う。
○商店街の沿道と、京王線の西側の線路沿いのエリアも含めて容積率を上げていくことを検討してもよいと思う。

【自転車交通】

○駅に近い側の跨線橋が坂道になっているため、スピードを出して商店街へ来る自転車が多い。
○通勤客が駅直近に自転車を放置していく例も多い。
○自転車で買い物に来るお客さんは大切にしたい。
○大きなトラブルが起きないうちに手を打つ必要がある。自転車の押し歩きを進めるためには、指導員として高齢者人材センターの人を雇うなどお金が必要だ。
○府中東芝ビルとミナノの間の通路(市も含めた協定があるが)が活用されていないので駐輪場として活用することも考えられる。

【市有地の活用】

○分倍河原駅北第2自転車駐輪場を、駅舎改良や駅周辺まちづくりの代替地として活用できないか。

【外周道路の南北動線】

○南北動線は高安寺脇の道路の改修も必要だと思う。
⇒過去に重大事故が発生しており、安全面も含め改善していく。(市)

【南北動線】

★現状の幅員では人と自転車が混在しており、危険な状況も見られるので拡幅が必要
○南武線の上に人工地盤を整備して南北を繋ぐことも考えられる。
○跨線橋の架け替えだけでなく、京王線ののり面のスペースを活用して南北方向の動線を整備していくことも考えられる。

【にぎわい、大型店舗と商店街の連携】

★誰もが安全に利用できるバリアフリーの歩行空間ネットワークを基軸として、安全性や利便性を確保する。
★商業機能、駅、歴史文化機能などの連絡性を強化し、相互の魅力を活かしながら、訪れる人でにぎわう歩行空間を形成
○ソフトの南北の連携については、共通買い物券の発行や府中市のイベントをミナノや商店街で行ったりするなど可能だと思う。
○分倍河原共栄会では12月初旬の3日間、駐車場にテントを設営して福引を行っているが、物品販売の店舗が減ってきており、実施が難しくなっている。
○ミナノはゴミ1つ落ちていないことからわかるように、分倍河原駅周辺に美しさをもたらしてくれた。商店街は人の顔が見える良さを持っている。両方の要素を高めていくとよいまちになると思う。
○駅周辺の整備は消防、防災の観点からも検討していくべき。
○ミナノでは毎月イベントを実施しており、ファミリー層の参加が多い。現在行っているイベントをミナノだけでなく、商店街や南口駅前広場も含めてできないか。

【防災】

○防火水槽・消火栓を利用するためのホースと台車を自治会で購入したが、使い方が難しいので訓練が必要である。
○AEDの設置場所や使い方を分かるようにしたい。
○法律上問題がなければ、ミナノの通路を一時的な待避所に活用してもいいのではないかと。



